

御料っ子だより



～緑輝き 歌声と挨拶が響き渡る学校～ 発行日 令和元年6月28日

時代の変化に順応しながら

校長 石ヶ森 孝順

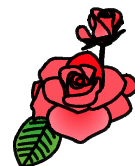
6月1日の運動会は、危ぶまれる天候を考慮し変則的な日程で進めさせていただきました。保護者・地域の皆様のご理解のもと無事開催することができ、目的を達成できましたことに、心より感謝申し上げます。

台風や地震による臨時休校等の連絡に対しても混乱なく対応いただいた昨年9月のことを思い出しました。教育力が豊かな地域であると改めて感じているところです。運動会後には、励みとなるお声を多数寄せていただきましたので、一部を紹介させていただきます。

次年度に向けては、子どもの体力を養い、運動の楽しさや喜びを実感させる意義を最優先に考え、運動会の在り方を検討していきたいと考えております。



- ◇ 今までは少し歩くだけで疲れたと言っていましたが、歩くこと、走ることが好きになってくれました。
- ◇ 今までは負けるとすぐに泣いてしまうことが多かったのですが、運動会の後は、それでも楽しかったと言っていて少し成長を感じました。
- ◇ 高学年のお子さんたちのお手伝いの協力的な態度が素晴らしかったです。応援している姿も微笑ましく感じました。自分の子もそうなってくれたらいいなと思いました。
- ◇ 1年経っただけでこんなに違うものなのかと成長を感じました。入賞して喜んだり、悔しがっている姿を見て、いい経験になっているなと思いました。
- ◇ どの学年も一生懸命に競技や応援に取り組む様子が胸が熱くなった1日でした。



6月17日、6年生と一緒に修学旅行に出かけました。自分が6年生の頃に体験した修学旅行、初任の頃に指導した修学旅行と比べると、ずい分変わった点がいろいろあるなと感じました。

- バスの中…揺れが少ないな。バスも道路も改良されたのかな。これなら酔わないぞ。バスガイドさんがいない。子どもたちが自分たちの力でレクを進めている。iPadを使ったカラオケ大会。昔はカセットを持ち込んだな。そう言えば、修学旅行のしおりに手書き文字が少ない。パソコンで作るって便利だな。
- 旅先で…先生方が離れたポジションから携帯電話で連絡を取り合っている。昔はトランシーバーを持たされたな。バイクやピュッフェ、食べ物の種類が多いな。子どもたちも結構慣れているぞ。小樽は欧米よりもアジアの旅行客が圧倒的に多いな。等々



このように時代が変わり、家族旅行を楽しむご家庭もある中で、修学旅行の意義をどのように考えるか。荷物をまとめることや自主研修を通して育つ「自立」、自由と自分勝手の違いを学ぶ「規律」、友達のよさを見付ける場面ではなくまれる「友情」。子どもを取り巻く環境の変遷はあっても、こうした意義や目的の達成に向けた教育の営みは、変わるものではないと思います。

バスの中で子どもたちが「およげ！たいやきくん」を歌っていました。40数年前のバスの記憶が甦り、郷愁をくすぐられました。何度も歌われた♪「パプリカ」の人気には負けましたけど…。

大運動会

走った! 跳った! 帰れた!

おそれるな! 勇気を出して 優勝めざせ!

天気予報を覆す子どもたちの頑張りが随所に見られました。
保護者の皆様には、熱いご声援を大変ありがとうございました!



1年生「ダンシング玉入れ」



2年生「ぐるぐるビュンビュン丸」



3年生「校区を守れ! われらにしごしょうぼうたい」



4年生「世界の国からこんにちは」



5年生「ムカデでGO!!!!!!」



6年生「LOVE&PEACE で借り人」



最高の仲間との最高の旅になりました！6年生修学旅行は大成功！

6月17日(月)・18日(火)の1泊2日、6年生が修学旅行に行ってきました。とても立派に行動しながらたっぷりと思い出づくりをしてきた6年生。1人の楽しみよりもみんなの幸せを考えた言動など、一人一人の「自覚」が光りました。笑顔で友達を気遣いながら行動する「思いやり」がたくさん見えました。まさに、重点教育目標である「周りが見える 自分が見える」を実践することができ、大成功の素晴らしい修学旅行でした。



コラム「新しい学習指導要領のはなし」No.2

「主体的・対話的で深い学び」っていったい何？

新しい学習指導要領では、学習活動の質を向上させる上で、「主体的・対話的で深い学び」が重視されています。



主体的な学びとは？

学ぶことに興味や関心を持ち、自分の将来の目標や学ぶ意義と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、学習活動を振り返って次につなげる学びのことです。



対話的な学びとは？



子ども同士の思いや考えの伝え合い、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方などを手掛かりに考えることを通じ、思考を広げ、活性化させる学びのことです。



深い学びとは？

各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、次のような学びを目指します。
 ＊知識を相互に関連付けてより深く理解する。
 ＊情報を精査して考えを形成する。
 ＊問題を見だして解決策を考える。
 ＊思いや考えを基に創造する。





遠足はさわやかな空の下

最後までしっかりと歩きました!



6月11日(火)は、1~4年生の遠足でした。さわやかな初夏の青空の下、どの学年も元気に歩き切った、よい遠足となりました。

4年生 ひじりの西公園



1年生 ごりよう公園と西御料緑地



2年生 旭神中央公園



3年生 花菜里ランド

子どもの安全を守るために私たちができること...

日頃から、子どもたちの安全を願ってやまないのは、学校も保護者の皆様も同じですよね。

しかし、神奈川県川崎市においては、多くの児童が殺傷されるという大変痛ましい事件が発生しました。被害者やご家族をはじめ、地域の安全確保に日頃から尽力している地域住民の皆様の心中を察すると、いたたまれない気持ちでいっぱいになります。

事件発生から加害者が自らを絶つまで、わずか十数秒の出来事だったと報道されています。このように理不尽で、予測困難な事件を前に、私たち大人が子どもたちの安全を守るためにいったい何ができるのか、改めて考えさせられます。

昨年6月に出された政府の「登下校防犯プラン」や、この6月17日に公表された鈴木北海道知事の「子どもを守るための知事メッセージ」では、「学校・保護者・地域が一体となって子どもを見守る」ことや、学校はもとより家庭においても、予測困難な事件に遭遇したときの行動について日常的に対話することが求められています。

川崎市の事件のように、あらゆる事態を予測することは難しいのですが、大切なのは大人があらためて何ができるのかよく考え、行動を起こすことだと思います。

学校としては、不審者情報を警察と共有して、ご家庭に様々な手段でお知らせをするなど、更にきめ細かな情報発信に努めてまいります。

今後も共に手を携え、子どもたちの安全を守る努力を重ねてまいりましょう。